

郵政産業 ユニオン さつぽろ

2012年
10月15日
No.4
発行
郵政産業
ユニオン
札幌支部
発行責任者
川守田英男

さようなら原発

脱原発の実現を目指す「さようなら原発北海道1万人集会」が13日、大通公園8丁目広場で開かれ1万2千人が参加し、泊原発再稼働や大間原発建設の反対を訴えました。脱原発を訴える道平和運動フォーラムや安保破棄道実行委員会など道内の市民団体が初めて集う「さようなら原発1000万人北海道実行委員会」の主催。子供をつれた夫婦、若者等であふれ従来からの労組中心の集会とはおもむきがちがひ、脱原発の世論の広がりが感じられました。集会に先立ち、脚本家の倉本聰さんは、「便利とは人間がサボること。1970年代の生活に戻れば電気の消費量は5分の2で済む」、上田文雄札幌市長は「札幌市は、原発に頼らないエネルギー政策への転換を決議した」、作家の雨宮処凛さんは



「声をあげることでのこの国をよくしよう」と話しました。

支部レク ラクヨウキノコ思わぬ収穫

秋の好日、白旗山で支部レクの登山を行いました。真駒内と



福住の地下鉄駅から車で現地へ。10時、クマよけの笛を吹きつつ、にぎやかに頂上をめざし出発。開始15分、日頃の運動不足がたたってやや疲れたところ事件が発生！ひよつと脇の林を見るところ何やらキノコらしきものが。キノコに詳しいN氏が「ラクヨウだ!」。「ナヌ!」と一行は俄かに色めき立つ。街で200円はしようかという立派なラクヨウがそこかしこ。キノコを取りつつ、あつという間に頂上に到達。秋の風が汗ばんだ体に心地よい。下山後、炭焼きでジンギスカン・シシヤモ・焼き鳥、加えてラクヨウで酒も進むこと進むこと。思わぬ収穫のあった支部レクでした。



出無精で物見遊山はしないのだが、数年おきに本州に行く機会がある。どこでも繁華街の景観は規模に大小はあるが、札幌のそれとあまり差異を感じない。だが郊外に行き瓦屋根、竹林などを見ると異郷の趣を感ずる▼

そんな折、一気に旅情をかき乱すのがコンビニの存在だ。苔むす石垣の城下町、湯けむり漂う山間の温泉郷ではなおさらだ▼それでも北海道よりは少ないという。観光地では景観に添った外観の店舗もある。北海道は何処へ行ってもコンビニが目につき、特に札幌中心部では街角に立つと必ず視界に入るほどだ▼コンビニは人口比で東日本に多く、北海道は全国一だそう。西日本、特に近畿圏は少なく奈良県は北海道の半分以下。歴史と伝統が根付いていて、利便一辺倒の商いを受け付けないということか▼コンビニは概して、どこでも同じけばけばしい装いだ。雄大な大自然にあこがれ、未知との出会・感動を期待して訪れた北海道で、待っていたのがコンビニではあまりにも気の毒だ。

「さようなら原発1000万人アクション」北海道 実行委員会構成団体

【実行委員会構成団体】

- 北海道平和運動フォーラム
- ほっかいどうピースネット
- 安保破棄北海道実行委員会
- 「脱原発・クリーンエネルギー」市民の会
- 泊原発の廃炉をめざす会
- 脱原発をめざす女たちの会北海道
- 札幌YWCA
- I女性会議
- 新日本婦人の会
- 【賛同団体】
- I女性会議札幌
- 北海道教職員組合
- 特定非営利活動法人北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会
- 岩内原発問題研究会
- 北海道生活協同組合連合会
- ポラン広場北海道
- 浜頓別町に核のゴミを持ち込ませない町民の会
- 全農林労働組合北海道地方本部
- 核廃棄物処分場に反対する道北議員の会
- 民主教育をすすめる道民連合
- 国鉄労働組合北海道本部
- 幌延核廃棄物施設誘致反対現地共闘会議
- 生活クラブ生活協同組合
- 私鉄総連北海道地方労働組合
- 全水道北海道地方本部
- 反原発自治体議員市民連合
- 俱知安P.C.F (Peace Child Future)
- みんなの未来を考える会まっかり
- Shut泊
- 泊原発を止める会
- NPO法人ねおす

- 北海道自由エスベラント協会
- 脱原発ネットワーク・ニセコ
- コープさつぼろ コープ会クレア
- 北海道農民連盟
- JR北海道労働組合
- 幌延高レベル核廃棄物問題を考える旭川市民の会
- みどり北海道 準備会
- 原発をもう一度考える会
- フリースペース Satokke
- いわもと農園
- 「ブルサマー」を知ろう！」後志住民ネットワーク
- 風の町の未来
- 石窯パン&カフェギャラリーラムヤー
- 円山ネパール愛好団
- 市民ネットワーク北海道
- 北海道地方森林労連
- NPO法人ひびきの村
- 脱原発カフェ おたる
- 脱原発ネット釧路
- 脱原発！子どもたちを放射能から守ろう！」江別実行委員会
- 第9条の会・オーバー北海道
- 健康をつくる会
- ニセコの粉雪を守ろう会
- 市民自治を創る会
- 子どもたちの未来を創る会
- 後木工務店
- 農民運動北海道連合会
- 北海道私教協
- 全開発労働組合
- 自治労北海道本部
- 札幌地域労組
- 札幌市交通労働組合
- チーム「今だから」
- 札幌管理職ユニオン
- 原発いらない小樽市民の輪
- 北海道民主医療機関連合会
- 北海道生活と健康を守る会連合会
- 北海道教育大学函館校教職員組合
- 社団法人北海道勤労者医療協会

- 北海道のエネルギーの未来を考える10000人の会
- 北海道平和婦人会
- ウイメンズネット旭川
- 広範な国民連合・北海道市民フォーラム十勝
- 北海道労働組合総連合
- 北海道社会保障推進協議会
- 札幌市高教
- 積丹の自然を愛する会
- 北海道農業団体労働組合連合会
- 全日本港湾労働組合北海道地方本部
- 「放射能汚染防止法」を制定する札幌市民の会
- 第9条の会・オーバー・釧路
- 医療法人 道北勤労者医療協会
- 株式会社 北健友社 ハート薬局

- 全自交北海道地方連合会
- 北都ハイヤー労働組合
- 泊原発廃炉の会十勝連絡会
- しりべし女たちの広場
- きもべつ自然エネルギーにシフトしよう会
- NBC作戦
- 自立支援プロジェクト(被災地に仕事を…三陸のミサンガ)
- 原子炉メーカーを糾弾する会
- AERO-SPACE UFO NEWS
- WOO F ジャパン
- 株式会社 あゆみ調剤
- ピースポートセンターさつぼろ
- 小樽・子どもの環境を考える親の会

札幌での啄木⑥

九月二十日。「入札以来初めての快晴」。当時あった「朝銭湯」で思想家綱島梁川の永眠を新聞で知る。啄木は詩集「あこがれ」を「哀調人に迫る」と評価した氏を、「畏友」と呼び「哀情禁ぜず」と記している。十一時から俄かに雷雨。諸方に手紙・ハガキを十数枚出し、妻などから数枚到着。夜、小國氏と「小樽日報社」への乗換について密談を交わしている。

二一日。坪内逍遙が友人代表となった、梁川の死亡報知来状。せつ子が娘京子を連れ来札。札幌への引越を相談。夜、小國・向井両氏と議論。啄木は小國氏の社会主義を「予の常に冷笑する所」としつつも、「或意味において賛同」し、「いとも楽しかりき」と記している。啄木は後に「幸徳事件」は政府によるでつち上げと確信するなか、社会主義を選びとる。

猶わが生活らくにならざり ちつと手を見る